



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 奥田朋近

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	81,767	△7.3	1,648	△38.7	789	△67.8	52	△96.7
28年3月期第3四半期	88,160	6.7	2,689	△4.6	2,449	△25.6	1,566	△33.4

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △3,160百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 537百万円 (△75.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	2.55	2.51
28年3月期第3四半期	76.40	75.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	77,032	42,061	54.1	2,033.28
28年3月期	86,311	45,881	52.7	2,217.74

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 41,682百万円 28年3月期 45,463百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	31.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,500	△9.7	2,300	△28.2	1,100	△60.0	210	△76.2	10.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	21,046,785 株	28年3月期	21,046,785 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	546,947 株	28年3月期	546,947 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	20,499,838 株	28年3月期3Q	20,499,842 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の回復傾向が鈍化しつつありますが、個人消費の持ち直しを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米国景気は堅調に推移したものの、中国では景気の減速が強まり、先行きの不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、国内においては軽自動車の販売不振の影響により低迷しつつありますが、海外においては北米や中国等で底堅く推移し、市場の回復傾向が見られました。

このような経営環境の中で当社グループは、2020年までの中長期経営計画「Dream 2020」のフェーズ2の二年目を迎え、重要展開方針として「技術革新」、「国内事業の再構築」、「グローバル拠点最適化」、「人材育成」の4つを掲げ、更なる経営体質の強化に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は81,767百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は1,648百万円（前年同期比38.7%減）となりましたが、円高の進行により為替差損880百万円を営業外費用に計上したことから、経常利益は789百万円（前年同期比67.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円（前年同期比96.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、国内の生産減少や為替の影響などにより、売上高は79,068百万円（前年同期比7.1%減）となり、営業利益は1,801百万円（前年同期比34.2%減）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連、工作機械関連ともに受注が減少したことにより、売上高は1,929百万円（前年同期比13.6%減）、営業損失は154百万円（前年同期は77百万円の損失）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

無動力の歩行支援機などの受注が減少したことにより、売上高は769百万円（前年同期比8.4%減）、営業損失は7百万円（前年同期は19百万円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、77,032百万円（前期末比9,279百万円の減少）となりました。流動資産は、現金及び預金の減少（5,445百万円）などにより、46,676百万円（前期末比5,876百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（3,631百万円）などにより、30,356百万円（前期末比3,402百万円の減少）となりました。

##### (ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、34,971百万円（前期末比5,459百万円の減少）となりました。流動負債は、短期借入金の減少（1,300百万円）などにより、26,372百万円（前期末比2,608百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（1,319百万円）などにより、8,598百万円（前期末比2,851百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、為替換算調整勘定の減少（3,741百万円）などにより42,061百万円（前期末比3,819百万円の減少）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、831百万円（前年同期比82.7%減）、投資活動に使用した資金は、2,155百万円（前年同期比30.0%減）、財務活動の結果減少した資金は、3,551百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は6,800百万円と前第3四半期末に比べ4,251百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、831百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が694百万円、減価償却費が4,003百万円であったのに対し、売上債権の増加額が2,181百万円、法人税等の支払額が1,656百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,155百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2,260百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,551百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が1,370百万円、リース債務の返済による支出が802百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日に公表しました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,837	7,392
受取手形及び売掛金	20,512	18,741
電子記録債権	5,721	6,860
たな卸資産	10,467	10,335
その他	3,472	3,746
貸倒引当金	△458	△399
流動資産合計	52,553	46,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,579	7,657
機械装置及び運搬具(純額)	8,616	7,040
その他(純額)	10,466	9,333
有形固定資産合計	27,662	24,030
無形固定資産		
その他	1,059	852
無形固定資産合計	1,059	852
投資その他の資産		
投資有価証券	4,379	5,043
その他	718	501
貸倒引当金	△61	△71
投資その他の資産合計	5,036	5,473
固定資産合計	33,758	30,356
資産合計	86,311	77,032
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,554	8,252
電子記録債務	6,122	6,582
1年内償還予定の社債	—	327
短期借入金	5,027	3,727
未払法人税等	1,293	262
賞与引当金	1,259	509
製品保証引当金	115	103
その他	6,608	6,607
流動負債合計	28,981	26,372
固定負債		
社債	327	—
長期借入金	3,600	2,281
退職給付に係る負債	2,669	2,654
その他	4,851	3,662
固定負債合計	11,449	8,598
負債合計	40,430	34,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,134	6,134
資本剰余金	5,867	5,867
利益剰余金	30,203	29,640
自己株式	△441	△441
株主資本合計	41,764	41,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	2,035
為替換算調整勘定	2,436	△1,304
退職給付に係る調整累計額	△294	△250
その他の包括利益累計額合計	3,698	480
非支配株主持分	417	379
純資産合計	45,881	42,061
負債純資産合計	86,311	77,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	88,160	81,767
売上原価	78,084	73,139
売上総利益	10,075	8,627
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,186	2,158
給料手当及び賞与	2,031	1,883
賞与引当金繰入額	78	79
退職給付費用	48	67
減価償却費	307	309
その他	2,732	2,479
販売費及び一般管理費合計	7,386	6,979
営業利益	2,689	1,648
営業外収益		
受取利息	144	83
受取配当金	101	95
その他	184	125
営業外収益合計	430	304
営業外費用		
支払利息	288	245
為替差損	330	880
その他	50	37
営業外費用合計	670	1,163
経常利益	2,449	789
特別利益		
固定資産売却益	22	3
特別利益合計	22	3
特別損失		
固定資産処分損	47	27
投資有価証券評価損	—	70
特別損失合計	47	97
税金等調整前四半期純利益	2,424	694
法人税、住民税及び事業税	570	728
法人税等調整額	246	△130
法人税等合計	817	598
四半期純利益	1,607	96
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,566	52



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,607	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	479
為替換算調整勘定	△989	△3,779
退職給付に係る調整額	△46	43
その他の包括利益合計	△1,069	△3,256
四半期包括利益	537	△3,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507	△3,166
非支配株主に係る四半期包括利益	30	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,424	694
減価償却費	4,358	4,003
賞与引当金の増減額(△は減少)	△760	△749
受取利息及び受取配当金	△245	△178
支払利息	288	245
固定資産処分損益(△は益)	25	24
投資有価証券評価損益(△は益)	—	70
売上債権の増減額(△は増加)	△1,792	△2,181
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85	△1,217
仕入債務の増減額(△は減少)	1,230	2,304
その他	470	△447
小計	5,912	2,567
利息及び配当金の受取額	237	167
利息の支払額	△288	△245
法人税等の支払額	△1,042	△1,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,819	831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	68	30
有形固定資産の取得による支出	△3,077	△2,260
投資有価証券の取得による支出	△41	△41
その他	△29	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,079	△2,155
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△529	△719
長期借入れによる収入	546	—
長期借入金の返済による支出	△2,416	△1,370
リース債務の返済による支出	△947	△802
配当金の支払額	△594	△614
その他	△53	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,994	△3,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△165	△456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,421	△5,330
現金及び現金同等物の期首残高	13,473	12,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,052	6,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤーハ ーネス関連 事業	福祉機器関 連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	85,087	2,233	839	88,160	—	88,160
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	29	4	33	△33	—
計	85,087	2,262	843	88,194	△33	88,160
セグメント利益又は損失(△)	2,738	△77	19	2,681	8	2,689

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤーハ ーネス関連 事業	福祉機器関 連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	79,068	1,929	769	81,767	—	81,767
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	27	1	28	△28	—
計	79,068	1,957	770	81,795	△28	81,767
セグメント利益又は損失(△)	1,801	△154	△7	1,640	8	1,648

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。